

所 属	総務部管財課県庁舎建設室		29年度担当所属名
係 名	企画係	内線	2219 総務部県庁舎建設課

岐阜県庁舎再整備事業

- 1 事業費 319,000 (前年度 110,000)
(債務負担行為 平成29年度～30年度 13,000)
【財源内訳】 【主な用途】
県債 57,700 委託料 299,433 (設計費等)
一般財源 261,300 役務費 10,670 (手数料)

2 背景・事業目的

現庁舎は、昭和41年に竣工、今年で築51年を迎え、建物や設備の老朽化により今後、維持・修繕コストが増大していくことが見込まれている。

また、行政事務の増大やニーズの多様化による業務拡大に伴い、狭あい化が進み、本来必要とされるスペースが十分に確保できていない。

更に、県庁舎には大地震直後に災害対策の中核拠点として機能する高い耐震性が求められるが、現庁舎は大地震が発生した場合、建物自体の損傷や設備の破損により、その機能が十分に発揮できないことが危惧されている。

県庁舎の再整備については、有識者会議や県議会での議論、県民から意見募集を行いながら検討を進めてきたところであり、平成27年度策定の「岐阜県庁舎再整備基本構想」に基づき、新庁舎の設計、建設工事を進めていく。

3 事業概要

「岐阜県庁舎再整備基本構想」を実現するため、新庁舎における機能的な執務空間のあり方等の設計の条件を整理するとともに、有識者会議や県議会での議論、県民からの意見募集を行いながら、基本設計を進める。

また、基本設計終了後、実施設計に着手する。

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) (8) 庁舎管理費 (明細書事業名) ○ 県庁舎管理費 県庁舎再整備事業費

所 属	総務部管財課		
係 名	庁舎係	内線	2214

新 県庁舎駐車場整備事業

- 1 事業費 492,000 (前年度 0)
(債務負担行為 平成29年度～30年度 1,850,000)
【財源内訳】 【主な用途】
県債 330,300 工事請負費 431,590 (建設工事等)
一般財源 161,700 委託料 59,353 (設計費等)

2 背景・事業目的

現庁舎は、昭和41年の竣工から今年で51年が経過し、建物の老朽化や狭あい化の対策、災害対策の中核拠点としての機能の整備などの必要性から、再整備を進めている。

新庁舎は現庁舎の東側駐車場に建設する計画で、早ければ平成31年度にも着工する予定であることから、建設により減少する駐車台数分について、早急に確保する必要がある。

3 事業概要

新庁舎の建設工事中から再整備完了後まで、各段階において駐車場が不足しないよう、県庁舎敷地内に駐車場を整備する。

(1) アリーナ北側グラウンドの駐車場化

アリーナ北側のグラウンドを駐車場として整備する。当該グラウンドは、現在、緊急時のヘリポートとしても使用しているため、県庁舎前の公園内に新たなヘリポートを整備する。

(2) 立体駐車場整備

現庁舎北側の駐車場内に、立体駐車場を整備する。

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) (8) 庁舎管理費 (明細書事業名) ○ 県庁舎管理費 県庁舎修繕等工事費
